



平成19年9月26日

## 航海訓練所練習船で外国人船員養成 第1回目をトライアル実施

フィリピンの商船大学MAAP( )の学生30名が「青雲丸」に乗船。2ヶ月間(10月、11月)、東京海洋大学・神戸大学の学生と航海訓練に励みます。

航海訓練所は、航海訓練に係る協力関係に関する協定をMAAPと締結し、「青雲丸」で第1回目となる航海訓練を実施することとしました。今回の取組みは、国土交通省に設置された「船員教育のあり方に関する検討会」の報告のうち、「日本人外航基幹職員の養成及び内航船員の確保対策の推進に影響を与えないことを前提として、日本船社の外航船舶の運航に従事することとなる外国人船員養成のための実習を積極的に行うべきである」旨の報告を受けて実施するものです。

航海訓練所は、平成9年度からODA事業として、開発途上国の船員養成に積極的に協力してきました。これは、船内生活において英語を使用する混乗船と同じような環境を作り出すことになり、外航船員を目指す日本人実習生にとって、大変良い実習環境となっています。この実績を生かし、MAAP実習生と日本人実習生双方により良い実習環境を提供できるよう、効果的な航海訓練に取り組んでいきます。

MAAP学生は、10月1日に青雲丸に乗船。乗船式に臨んだ後、10月3日に東京港を出港し、11月30日まで日本沿岸での実習に入ります。なお、乗船式は、10月1日午後1時から東京港 航海訓練所専用明専用棧橋 R-L岸壁着岸中の青雲丸船上にて行われます。

MAAP: Maritime Academy of Asia and the Pacific の略称。フィリピンの船員組合であるAMOSUP(Associated Marine Officers' and Seamen's Union of The Philippines)が設立した民間の海事大学。多数の諸外国からの援助で運営されており、能力の高い生徒が集まる。

### 【配布先】国土交通省交通運輸記者会



船名 青雲丸  
(せいうんまる)  
船長 乾 真  
(いぬい まこと)  
進水日 H9.3.4  
総トン数 5,890トン  
全長 116.00m

問い合わせ先  
この広報に関して

独立行政法人 航海訓練所事務局総務課  
担当: 小澤、岡田 電話: 045-211-7303